

同友ぐんま

同友会の活動
はこちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



9

2017年

月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

題字リニューアル (広報委員会による採用作品)

【製作者紹介】(株)シスブラ、堤 崇志氏 (会員は代表取締役・椋沢 均氏/高崎支部)

【制作趣旨】常に向上心に溢れ、新しいモノを取り入れ、チャレンジしていく経営者の集まりということで、軽快な書体を選びました。また、ただ新しいモノを取り入れるだけでなく、先代の経営者の築いた良い部分も活かしていくという意味も込めて伝統的なイメージの和柄を背景にしました。



「継続は力！参加するたびに会社が強くなる」

第22期 経営指針をつくる会・第1講

経営指針部会主催による第二十二期「経営指針をつくる会」(一泊二日全六講)が今年度もスタート。企業の道しるべとなる経営指針を成文化し、厳しい経営環境を乗り越えるため、三十五社より四十六名が参加しました。ここ数年、参加者

数が増加傾向にあるのは、企業の業績好調が会員に広く伝わってきているからと推測されます。第一講は七月二十八日(金)二十九日(土)の二日間、ニューサンピアを会場に「経営理念の作成と深掘り」をテーマ

に開催。企業の根幹をなす経営理念の成文化や練り直しを中心に、講義や実習を行いました。戸塚部会長の開会挨拶・趣旨

説明から始まった一日目は、経営指針作成の基礎として、(株)和多利合同事務所・山口氏が「経営指針作成の意義と全体像」を

テーマに、経営環境の構造変化や経営者の役割の説明を交えながら、その重要性を講義しました。また、四期連続で参加する兼希工業(株)・細渕氏が「経営指針作成で我が社はこう変わった」と題して報告し、「自分が何をしなくてはいけないのかを整理できた」「社員に会社の理念と進むべき方向を理解してもらえた」などの成果を紹介しました。

その後のグループ討論では、講義・報告に込められた熱きメッセージを受け、自社の経営課題と参加目的を改めて明確にするとともに、今後の経営指針作成への想いを深め合いました。



一日目の後半から二日目は、今年度が初参加になるメンバーを中心に経営理念を検討するAコースと、昨年から連続参加になるメンバーを中心に財務分析を行うBコースに分かれて進行。Aコースは「経営理念検討シート」の記入とグループ討論を交互に行い、メンバーからのアドバイスを受けながら、創業者の想いや自社の使命を経営理念に重ねていきました。一方、Bコースは「企業変革支援プログラム」に基づいて経営課題を抽出した後、同業者比較などにより財務の面から課題整理をしていきました。

次回、第二講は「経営理念のまとめと自社分析」をテーマに行われます。半年後には参加者の想いが詰まった経営指針が完成することでしょう！

障害者雇用はハードルを上げずに自然体で

第3回障害者雇用フォーラム／伊勢崎支部7月例会

七月十八日(火)、伊勢崎市文化会館を会場に、障害者雇用委員会&伊勢崎支部設営、群馬県後援の「第三回障害者雇用フォーラム／伊勢崎支部7月例会」が開催されました。当日は伊勢崎支部を中心とする会員経営者や同テーマに関心の高いオ

ブザーバー経営者、県内各地の障害者支援機関・特別支援学校、

行政関係者など総勢四十五名が集まり、障害者雇用について学び合いました。

田村副代表理事は開会挨拶で「ダイバーシティの考え方は今後の企業経営に必須。群馬県は比較的障害者雇用の取り組みが遅れていると言われるが、こうした会を重ねるなかで会員企業が一社でも多くの雇用につな

れば」と語り、本フォーラムの開催意義を説明しました。

事例報告では、機械部品の脱脂洗浄を手掛ける(株)日乃出、代表取締役・古郡登氏(伊勢崎支部)が報告者を務め、「障害者雇用はハードルを上げずに自然体で」をテーマに、自身の経営体験を語りました。同社は四年前から障害者雇

用をスタートし、現在は四名の障害者が活躍しています。

古郡氏は、障害者雇用に取り組んでの感想を「以前は絶対に無理だと思い込んでいた。しかし、今では会社にとって欠かせない存在になっている」と説明。また、障害者雇用を始めた経緯について「あるセミナーに参加して、当社にもやってみてもらえる仕事がありそうだ」と素直に思えたのがキッカケ」と振り返りました。

その後、同社初の障害者雇用を皮切りに、精神・身体・知的障害者の雇用事例を採用順に一人ずつ、その特徴や社員との関わり、苦労話などの各種エピソードを交えて紹介。報告のまとめでは「障害者雇用を何のために行うのか」を経営者の立場から参加者に提起しました。

が来ていると感じた」「障害者が継続して働ける環境づくりの難しさを痛感」「雇用側・支援側、双方の意見が聞けるので、本フォーラムの開催は非常に有意義である」など、活発な意見が交わされました。

情熱だけで人は動かない

桐生支部7月例会

「情熱だけで人は動かない」エネルギーを無駄なく推進力に換えるには」をテーマに、桐生支部7月例会を開催。ソフトウェア開発の(株)プランニング、代表取締役・町田英之氏(前橋支部)が報告者を務め、自身の経営体験を語りました。また、本例会は九月に開催される「青

年経営者全国交流会in茨城・第五分科会」のプレ報告を兼ねており、分科会座長の(株)アミイダ・阿久戸氏(太田支部)にも協力を仰ぎ、本番さながらのプログラムで進行了しました。

事業承継に至る紆余曲折や承継後の経営指針を中心に据えた各種取り組みなど、町田氏の八〇分にわたる報告、その報告を受けて学ばべきポイントを的確に指摘する阿久戸氏のまとめ。まだブラッシュアップの余地は多分に残されているものの、通常とは一味違った緊張感のある例会になりました。

参加者アンケートには「社長の情熱を社員に押し付けるべきではない」「自社を分析する力と実行する力の両方が大事」「経営指針の重要性を改めて認識した」などが記されていました。



新卒社員が活躍する未来志向の会社づくり

高崎支部7月例会

七月二十日(木)、ビエント高崎を会場に高崎支部7月例会を開催。リフォーム・建物メンテナンスを手掛ける(株)正和、代表取締役・坂間正和氏(高崎支部)が報告者を務め、「前向きで、駐車場にも励まされ、新卒社員が活躍する未来志向の会社づくり」をテーマに、自身の経営体験を語りました。

坂間氏は、大手企業を辞めて家業入社の経緯を順を追って説明。「前職とは全く畑違いの仕事。社長就任後に待っていたのは悲惨な状況だった」とジリ貧経営に喘いだ当時を振り返りました。



そうした状況で目に留まったのが、報告テーマ「前向きで、駐車場にも励まされ」。この言葉を胸に「必ず三億円企業になる。若い人がたくさん活躍する会社にしてみせる」と誓い、自分で決めた戦略に従って行動した結果、「全ての誓いを実現することができた」と言います。

「空き家活用ナンバーワン企業に！」を将来の夢として掲げる坂間氏。「新事業の創造には若い力が必要不可欠。若い人を信じ、その可能性に賭ける。無限の可能性をどう活かすが経営者の仕事」と力強く参加者に語り掛けました。

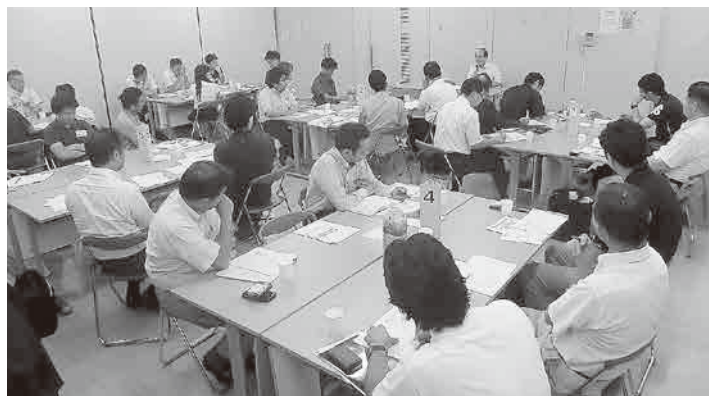
報告終了後は「会社の未来づくり」をテーマにグループ討論を実施。「未来づくりは人づくりと改めて感じた」「経営者は明確なビジョンを社員に示す必要がある」「ドキドキとワクワク。挑戦する気持ちを忘れない」など、活発な意見が交わされました。

二人の息子への事業承継

太田支部7月例会

七月二十七日(木)に開催された太田支部例会は、(有)神保商会、取締役会長・神保次雄氏が「家業から企業へ二人の息子への事業承継」と題して、経営体験を報告しました。

工具の卸売業として独立し、順調に取引先を増やす中、一つの取引先でトラブルが発生。苦肉の策で「金属加工」を自社で始めたと振り返ります。必要に



迫られ始めた結果「加工の出来る工具屋」という差別化に繋がり、業績を支える二本柱にまで成長させます。今は工具卸を長男(現社長)、加工を次男(現専務)が担当し、会長の思いを引き継ぎ、事業を牽引しています。

事業承継の際、「二人に社長の経験をさせたい」と、分社化を検討したそうですが、息子達で助け合ってきた。これからは「親父を支えるために兄弟も変わらない」と、分社化せずに、兄弟経営の道を選びました。「仕事だけで子育てに参加していない」と語りながらも、承継時のエピソードでは、胸に熱く込み上げるものがあつたようです。事業だけでなく、創業者の想いを受け継ぐ(継がせる)事の大切さが伺えました。

参加者アンケートには「背中を見せることで子供達を立派に成長させた」「兄弟経営の道を選んだ社長・専務に期待する」などの感想が綴られていました。

S/S 株式会社 エス・アイ・エス

企業の様々な課題をコンピュータシステムで解決！
(自動化、効率化、見える化、高速化)

★システム化事例

生産管理、工程管理、ガントチャート工程管理、在庫管理、原価管理、調達管理、図面配布管理、計測器貸出管理、販売管理、工事書類一括作成、耳標管理、安否緊急通報、ルート配達管理、他

ソフトウェア、ハードウェア、ITサポート、ITコンサル、IT環境構築

お気軽にご相談ください。Tel: 0274-63-0466

〒370-2312 富岡市星田632-1 <http://www.sis-jpn.co.jp/>

キーパー財務17・経営羅針盤17



財務の力を経営の力に

キーパー経営羅針盤17なら、会社でも自宅でも自社の財務状況をリアルタイムに把握し、チェックすることが可能です。

同友会 高崎支部会員

株式会社 シスプラ

<http://www.syspla.co.jp/>

☎ 0120-638-377

群馬県高崎市問屋町3-10-3 問屋町センター第2ビル
TEL:027-363-8377 FAX:027-363-8313

同友会との出会いが私を変えた

富岡支部7月例会

七月二十四日(月)の富岡支部例会は、「同友会での出会いと学びが親の七光りに気づかせてくれた」と題して(有)小板橋産業の小板橋社長(同支部所属)が報告しました。

昭和二十七年創業の同社は玩具等の卸業としてスタートしました。その後、宣伝用風船の持



ち手など一部製造を開始。昭和三十八年に先代が入社し、金属加工を本格的に開始しました。現社長の小板橋氏は三代目。いわゆる「やんちゃ坊主」で育ち、中学の時には先生から「前は絶対高校には受からない」と匙を投げられたものの、定員割れの高校にどうにか入学します。ところが単位が足りず一年のときに留年。年子の弟と同級生として高校生活を送ることとなりました。しかし、その後は一つも単位を落とすことなく三年へ。「これで卒業できる」と思っていた矢先、ある事件によって部長としての責任をとり不本意ながら退学に...

その後、紆余曲折を経て市外の会社で後輩達を教える立場になっていた小板橋氏でしたが、ある時に、自分の給与が高卒の後輩達よりも少ないことが判明し愕然とします。「以来、中卒である



ことがコンプレックスとなり、ずっとつきまといてきました」と小板橋氏。

ところが同友会の仲間たちと触れ合ううち、へんに強がっていた自分に気づくのでした。

「最近では表情まで違う」と、その後の変貌ぶりに紹介者の田村支部長も驚いていました。

「入会して、今の私では社員がかわいそうだと真っ先に思いました。また先代の信頼と実績に支えられていることも痛感しました」と小板橋氏は語ります。そして最後に「弱さを見せられる強さを持ち、生かされてきた自分が今後はみんなを生かせるように成長し、良い会社にした」と結びました。

今年度はお互いをもっと知り合う意味で会員報告を中心に企画している富岡支部。今後の例会も本音トークが続きます。

感動を生み共感を得るために

沼田支部7月例会

七月二十六日(水)に開催された沼田支部例会は、(株)ホテル辰巳館、代表取締役・深津卓也氏が「観光地域づくりとDMO、住んでよし、訪れてよしの地域とは」と題して、みなかみ町の地域づくりを中心に報告しました。

深津氏は、みなかみ町の観光関係者で組織され、自身が代表理事を務める「みなかみ観光会議」で分析された、観光に関するデータや計画などを丁寧に説明。町全体の取り組みを紹介した後に「観光は感動を生み、共感を得ること」と、自身の考えを訴えました。

また、自社での取り組みとし



て「私達は記憶の商売で、商品は屋根の下だけではない。地域のコンシェルジュとして感性・感動・感謝の3Kを意識し接客している」と語りました。

参加者アンケートには「緻密な戦略に基づいた行動や情報発信。企業経営に通じる部分が多い」「深津社長がリーダーであるみなかみは、もっと良くなりそう」などの感想が綴られていました。

安全と安心のトータルソリューション

KB 関東防災工業株式会社

～消防設備と電気設備の設計・施工・保守、消防用品の販売に加え
雷が落ちない本当の避雷針(PDCE)の販売、防災コンサルティングまで～

◆ 本 社 / 前橋市高井町一丁目29-7
TEL : 027-251-3535 FAX : 027-251-3540

◇ 安中営業所 / 安中市西上磯部1736
TEL : 027-385-5261 FAX : 027-385-5291

10年後、どんな企業を目指すのか！

前橋支部7月例会

前橋支部では、七月十九日（水）、前橋市中央公民館を会場に、庭園外構の設計・施工・管理などを行う（株）高崎松風園、代表取締役社長・山口俊輔氏（前橋支部）が「10年後、どんな企業を目指すのか！～業界の未来

のために本気で挑んだ7年間」と題して、経営体験を報告しました。

冒頭で県内造園業に対する世間のイメージを紹介しましたが、残念ながらあまり良いイメージは持たれていないという

結果でした。そんな業界のために、同友会を休み、本気で改革に挑んだ挑戦を語りました。

二〇一〇年、これまで積極的に参加していた同友会活動を休み「ガーデンサービス研究会」という同業種の会を立ち上げます。入会基準は、建設業許可があることや設計・施工・メンテナンスを一貫して行えること、既存顧客が千

件以上など厳しい

ものを設け、勉強するのではなく、結果を出す集まりという位置づけでスタートしました。現在では四十四社が所属しネットワークも広がっています。この集まりの代表を五年間務めながら、自社はもちろん、造園業全体の為に時間を使ってきたそうです。その結果については「業界が変わったというよりも、自社の外部環境が大きく変わった」と分析。同友会を休み挑戦した期間については「正しいかは不明だが、時間の使い方に後悔はない」と力強く語り、各業界からの参加者に向けて「十年後をどう考え、どう行動しますか？」と投げかけて報告を終わりました。

報告を受けてのグループ討論では、久しぶりに同友会に復帰した山口氏に向けて「以前よりもパワーアップしている」「経営に対する情熱は変わっていない」などの声も聞こえてきました。

参加者アンケートには「感性

の経営から、分析の経営に変わったという話は二代目として考えさせられた」「分析力・行動力・創造力から、情熱と愛情を感じた」「なくてはならない企業になっている力強さに刺激を受けた」などの感想が記されていました。

社員とともに学び合う

七月二十五日（火）の渋川吾妻支部例会は、社員とともに学び合う例会シリーズとして開催されました。

今回のテーマは「目的を持つことの大切さ」。冒頭、（株）コモチの中澤さんと、ローランド観光（株）の兵藤さんが社員の視点から問題提起を行いました。

「明確な目標を自分で立てることはモチベーションにつながる



渋川吾妻支部7月例会

る」「目標を持っていると愚痴が出ない」「目標に向かう強い思いが周りを動かす」「自己管理の仕組みづくりが課題」等々、二人の報告の後は、セルフカウセンリングシートを用いて、いつもの例会よりも長めのグループ討論。時間の許す限り語り合いました。

初めての参加者からは「考えさせられることが多かった。社員とともにずっと幸せに生きていける会社になりたい」「社員お二人の発表がとても素晴らしく、羨ましく思った。もっとしっかりとコミュニケーションをとっていききたい」「この機会を与えてくれた社員と同友会に感謝です。社員のために必ず永続企業を目指します」などの感想が綴られていました。





提案するのは「庭時間」 〇〇と過ごすワクワクを!



ローカルガーデン

代 表 小松崎真司 氏 (前橋支部所属)

▼会社概要

当社は前橋市上大島町にて、外構工事の設計・施工管理を行う個人宅専門のエクステリア&ガーデン設計事務所です。当社の掲げるコンセプトは「庭時間」。庭は、家を建てたおまけではなく「家+庭=家庭」の文字通り、庭で過ごす時間はかけがえない家族の記憶となります。家族や仲間とバーベキューやガーデニング、ペットと一緒に時間を忘れてくつろいだり、ガレージで趣味を満喫するといった「子育て」「ペット」「ガレージ」三つの「ワクワク」を軸に庭時間の大切さを提唱しています。

▼自己紹介と設立への想い

大学卒業後、大手ハウスメーカーに就職し、手掛けた設計プランが形になる楽しさにのめり込み、県内の外構専門プロショップに転職しました。そこで業界の知識と経験を上積みし、二〇一五年二月にローカルガーデンを立ち上げました。きっかけの一つに自宅の建築

Q & A

があります。家を建て庭を持ちたいという世代の大半は子育て世代です。私自身も二児の父であり「同じ目線を共有出来るのは今しかない」と、独立に踏み切りました。その想いは「まま・ここ」という地域の子育て情報誌(フリーペーパー)内に「子供が主役の庭作り」というコラムを担当することで、パパ・ママに向けて発信しています。ぜひお手にとってご覧下さい。

▼イチオシPR

今年の八月に前橋市富士見町の「世界の名犬牧場」内に弊社展示ブースを設置させて頂きました。ワンちゃんと住まう庭を



体験する事が出来るサンルーム(ガーデンルーム)です。園内のドッグカフェのテラスから続くスペースに、全面開放可能な折戸パネルを採用した個人宅でも人気のサイズを選びました。庭からの入り口にはスロープを設け、小型犬でも無理なく上れて、子供やお年寄りの方にも安心の設計となっています。世界の名犬牧場にお出掛けの際は、ペットと共に過ごす庭時間を疑似体験してください。もちろんサンルームの使い道はそれだけではなくありませんので、ペット連れ以外の方もゆっくりご覧頂ければ幸いです。

▼取り組んだいきさつ

ワンちゃんに限らず、ペットは家族同様で、室内飼いが当たり前の時代です。同じ空間で過ごしたいと願う飼い主さんの声を受け、弊社取引商社とメーカーが三位一体となり、年間来場者数一〇万人を超える世界の名犬牧場とタイアップしました。サンルームの使い方の一つとして「ドッグハウス」を提案・体験して頂く事で、商品と弊社の認知度アップを目的としています。オープンしたばかりで反響は未知数ですが、今後はこの

▼会社の将来像

現在は「子育て世代のエクステリアプランナー」という位置づけで相談を受けておりますが、自分が四十代・五十代となった時に、同じ目線と言え張れる自信はありません(笑)。

それまでの経験を糧として、グローバルではなくローカルに、前橋市内を中心とした「心のゆとりを提供できるお庭デザイナー」になっていきたいと思っています。



所在地／前橋市上大島町48-16
連絡先／TEL027-226-1040
U R L／<https://local-garden.com/>

会員たんしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【社員考案の対戦ゲーム】 (株)ソウワ・ディライト

照明設備や太陽光発電など総合電気工事業の(株)ソウワ・ディライト(代表取締役・渡邊辰吾氏/高崎支部所属、取締役・渡邊仁基氏/前橋支部所属)は8月25日までの毎週金曜日に前橋市中央児童遊園のなばあくで実施している「るなばDEないと」のイベントに参加している。プロジェクトンマッピングを使った対戦ゲームを実施。今年入社した女性社員が大学時代に卒業研究で作製した「カマキリVS」で、パソコンでキネクト、ゲーム、プロジェクターを制御し、ポーズにより技を発動・発射し攻撃する。

同社総務部の中里さんは「当社の企業理念『デンキのミライにワクワクする』を感じてもらえればと思い参加している。大人と子供と一緒に楽しめるイベントになっている」と話している。

[8/10付ぐん経]

【社名「トヨナガ」に】 豊長自動車販売(株)

中古車販売で県内最大手の豊長自動車販売(株)(代表取締役・長尾秀夫氏/高崎支部所属)は8月1日付けで社名をトヨナガに変更した。より親しみやすいイメージを持ってもらうことが狙い。豊長自動車販売という社名は創業者の長尾秀夫社長と豊田功専務の苗字から1字ずつを取って名付けたもの。70年7月の創業以来、使用していた。ただ、一般には屋号の「トヨナガ」が広く知られており社名も一致させることにした。

また、安中店・安中工場を「スズキアリーナトヨナガ高崎八幡」として新築・移転オープンしたのに伴い本店住所は安中市板鼻185-1から同148-1に変更になった。11下旬には太田店をスズキの専売店としてリニューアルオープンする。

長尾社長は「分かりやすく親しみやすい社名に変更した。今後は新車販売を強化していく計画もあり、良いタイミングだと思う」と話している。

[8/17付ぐん経]

【カレー専門店リニューアル】

(有)ヤマキコーポレーション

飲食店を展開する(有)ヤマキコーポレーション(取締役社長・山崎裕紀雄氏/伊勢崎支部所属)は、カレー専門店「CURRY ON(カレーオン)」

(前橋市古市町)をリニューアルオープンした。今年4月にチャンピオンカレー(石川県)から運営を引き継ぎ、7月に店舗を改装するとともにカレーのほかナン、オムライス、サラダなどメニューを増やした。同店でノウハウを蓄積し、将来的には多店舗化したい考え。

店舗面積は約90平方メートル。今回のリニューアルでは、客席数を従来から12席増やし39席とした。ランチのカレーはトッピング付きで650円から。営業時間は午前11時から午後10時(ラストオーダー同9時30分)までで基本的に無休。

塚本店長は「女性でも気軽に入れる店づくりを目指しているが、平日はサラリーマン、週末はファミリー層の来店も多い。ナンはネパール人コックが焼いている」と話している。

[8/17付ぐん経]

【財務データを経営に生かせ】 (株)シスプラ

群馬中小企業家同友会と、財務会計ソフト開発販売の(株)シスプラ(代表取締役・栢沢均氏/高崎支部所属)は10日夜、9月から実施する「財務実践チャレンジ研修会」の説明会を高崎市総合福祉センターで開いた。栢沢社長が財務会計データを経営に生かす大切さを伝えた。

栢沢社長は同友会の会員約30人を前に、「経験と勘だけに頼るのは井経営。経営者は常に事業活動を数字で評価できるようにならないといけない」と強調。加えて「企業は資金さえ回転していれば継続できる」と、キャッシュフロー黒字化の重要性を語った。研修会では、実際に参加企業の決算書データから目標予算を立て、予算と実績の数値を管理して課題解決を探り、業績向上につなげる。

研修会は会員を対象に、毎月2回、シスプラで午後6時半から同9時に実施する。初回は9月7日。問い合わせは同友会へ。

[8/17付ぐん経]

【組織変更&代表取締役就任】

群馬レジン(株)、工場長・箱田克彦氏(桐生支部所属)では、この度、「(株)テクノボックス」に組織変更し、合わせて「代表取締役」に就任しました。

【取締役就任】

(株)群馬計理、五十嵐正子氏(高崎支部所属)は、この度、代表取締役を退任し、「取締役」に就任しました。

部品加工の 株式会社 マテハン

同友会の製造業と連携して
北関東機械加工センターを目指します。

ホームページで仕事の受注ができました。
好評「部品加工のマテハン」

URL: <http://www.kk-matehan.co.jp/>
E-mail: mth@kk-matehan.co.jp

従業員数 12名
代表取締役 島山 淳
群馬県太田市矢田堀町351-6
TEL 0276(37)4571
FAX 0276(37)4562

アルマイト、各種メッキ、各種塗装、黒染、アッセンブリー
ダイカスト・鋳物の含浸処理をはじめました

鉄・ステンレス・アルミ・プラスチックetc...あらゆる素材に対応

上毛電化 株式会社

ISO9001認証取得 エコ・アクション21認証取得

〒375-0056 群馬県藤岡市三ツ木336-6
TEL: 0274-24-3228 FAX: 0274-24-4841
URL: <http://www.alumite.jp/> E-mail: joumou@vesta.ocn.ne.jp
営業担当: 井坂、永井 表面処理のご要望は何でもご相談ください。

第4回

理事会報告

日時 八月一日(火)

十八時三十分

会場 同友会事務所

出席者(順不同・敬称略)

正副代表理事／山岸、澤浦、田村、相沢、常任理事／戸塚、町田、生沼、増田、平岩、中澤、小林、榎原、宮田、植杉、理事／杉崎、丹羽、布施、前田、笠原、櫻井、事務局／黒岩、阿久澤、竹内(役員計二十名)

【議事】

田村副代表理事が急きよ議長をつとめ、澤浦代表理事挨拶のもと、第四回理事会開会。

【ゲスト報告】

冒頭、NPO法人VIC人材戦略研究所の阿部代表をゲストに迎え、人材不足が叫ばれる中、今後の対応策の一つとして期待される「外国人「高度人材」について学びました(今回はベトナム)。

I. 報告連絡事項

1. 連合群馬との懇談会報告
本日十七時より初めて開催された連合群馬との懇談会の概要

が報告されました。

2. 支部・部会・委員会報告

各組織代表者より、報告や案内連絡等がありました。
その中で新たな取り組みとして高崎支部が主催し、シスプラ等会員数社の協力のもと「財務実践チャレンジ研修会」が九月から開催されることが報告されました。

3. その他

群馬県が主催する「女性リーダー交流会」と「イクボス養成塾」が事務局より紹介されました。

II. 承認事項

1. 共愛学園前橋国際大学「企業人オムニバス講座」について

後期から始まる標記講座について、業種のバランスを考慮しつつ、全講座の報告者が内定した旨の報告があり、これを了承しました。

2. 経営研究集会について

十二月二日(土)に高崎で開催される今年度の経営研究集会について、その進捗状況等が実行委員会から報告され、これを承認しました。

3. 入退会者承認と仲間づくりについて

前回理事会以降の入会者三名、退会者一名を承認。会員数は五四九名となりました。

III. その他

1. 次回の理事会開催日程

第五回理事会を左記の通り開催することが確認されました。
日時・九月五日(火)
十八時三十分より

会場・同友会事務所・会議室

新会員ご紹介

8 月度常任理事会承認
会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

高崎支部

(株)光 伸

代表取締役社長
木下 篤
S37年生〒370-3115 高崎市箕郷町富岡1549-3
TEL: 027-344-4777
FAX: 027-344-4779プラスチック樹脂への加工、塗装、印刷、組み立て
ゴルフ

【紹介者／山岸良一】

弊社はプラスチック樹脂等の一貫性受注を目指し、金型・成形・塗装・印刷・組立と物作りに拘っています。また、近年異常気象等ゲリラ豪雨対策品も手掛け、多様化を目指しております。一社では成せなくても、集いし仲間と共存共栄できることを願い、参加させていただきました。宜しくお願い致します。

富岡支部

(株)ロックウェル

代表取締役
岩井 典
S34年生〒370-2206 甘楽郡甘楽町善慶寺880
TEL: 0274-67-7611
FAX: 0274-67-7612スクリーン版作成、デザイン作成・修正、スクリーン印刷、製品販売
音楽鑑賞

【紹介者／浅井明美】

当社は、Tシャツ・ Poloシャツをメインとして、会社・学校・イベント等のユニフォームを個人向けを中心に、小ロットからプリント加工を行っています。今年の5月には高崎駅西口に受注店舗として、プラスワン高崎店をオープンしました。皆様と一緒に色々と勉強させて頂けたらと思っています。宜しくお願い致します。

これからもお客様の信頼を糧に

私たちはできること。
それは
未来の地球のために、
そしてお客様にも、
やさしい企業であること。

「水なし印刷」をお薦めします

「水なし印刷」は、有害な廃液を含む湿し水を一切使用せず
現像工程の現像液使用量・廃液量も大幅減、またCO₂排出量も削減します。
環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。
私たちは、これからも環境に、お客様にやさしい企業を目指します。



JOBU PRINTING CO., LTD.
TELEPHONE 027(352)7445 FACSIMILE 027(352)2953
TAKASAKI E-mail: eigyo@jp-t.co.jp URL: http://www.jp-t.co.jp

上武印刷株式会社 〒370-0015 高崎市島野町890-25



アルミ精密部品の切削加工メーカー

有限会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします！

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059
URL: http://www.apm-f.com E-mail: fuse@apm-f.com